

会 議 録

会議の名称	補助金等見直し検討部会（第24回）
開催日時	平成24年10月29日（月） （午前・ 午後 ）3時00分 開会 （午前・ 午後 ）5時15分 閉会
開催場所	南館8階 中会議室
出席者	<p>【外部委員】 坪内隆、中森孝文、杉田宗三、棟田勝子</p> <p>【検討部会員】 河井企画財政部長、秋元財政課長、小田地域教育振興課長、山寄政策法務課長、大神人権・男女共生課長、上田政策企画課長、北遼市民活動推進課長、原田福祉政策課長、北川障害福祉課長、田川高齢介護課長、岡こども政策課長、徳永商工労政課長、大神農林課長、松本環境政策課長、田邊都市政策課長、西村まちづくり支援課長、乾教育政策課長、前田学校教育推進課長、池田市民学習課長、増田青少年課長、中井スポーツ振興課長、萩原消防総務課長</p> <p>【説明員】 吉田危機管理課長</p> <p>【作業部会員】 青木市民活動推進課長代理、岩崎財政課係長、多田人権・男女共生課長代理、岸本福祉政策課係長、村上高齢介護課係長、平野こども政策課長代理、河原商工労政課係長、内田農林課係長、井澤環境政策課主査、馬場都市政策課参事、福田まちづくり支援課長代理、砂金道路交通課係長、阿曾教育政策課主査、上田学校教育推進課主幹、加藤市民学習課係長、小島青少年課長代理、松澤スポーツ振興課係長、中井消防本部総務課参事、野村議会事務局総務課長代理、北川財政課職員</p>
事務局職員	係長1人、係員2人
開催形態	公開（傍聴者1人）
議題(案件)	<p>(1) 補助金等の適正化について</p> <p style="padding-left: 2em;">F 農林業団体が行う事業に対する補助金（F-06～08）</p> <p style="padding-left: 2em;">I 小中学校区ごとに地域活動を行う団体への補助金</p> <p style="padding-left: 2em;">J 市の事務の代替的な事業を行う団体への補助金（J-01～05）</p>
配布資料	<p>(1) 補助金等適正化検証シート</p> <p>(2) 追加資料</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
議長	<p>前回に引き続き、補助金等適正化検証シートに基づいて審議する。</p>
	<p>【議題 1 各補助金等の検証】</p> <p>【F-06 有害獣捕獲事業補助金】</p>
説明員	<p><資料 補助金等適正化検証シート (F-06) に沿って説明></p>
外部委員	<p>95,000 円は補助金としては小額であると思うが、今後、有害獣による被害が増えていけば拡充することはあるのか。</p>
説明員	<p>一回につき 5000 円の補助金であり、今後、捕獲頭数が増えれば補助額は増額となる。</p>
外部委員	<p>獣害ネット等もあるが、くくりわなが最も効果的なのか。</p>
説明員	<p>柵やネットは設置したところには来なくなるが、被害の縮小には捕獲が有効である。また、くくりわなはどちらかというとな安全性が高い。</p>
外部委員	<p>捕まえたものはリリースではなく、殺処分か。</p>
説明員	<p>殺処分する。</p>
	<p>【F-06 農空間活用事業補助金 (ふるさと食材供給事業)】</p>
説明員	<p><資料 補助金等適正化検証シート (F-07) に沿って説明></p>
外部委員	<p>補助金は、がんばっているところへ出すべきであると思うが、もう事業収入で補助事業対象経費を賄えているので、あえて補助金として 17 万円を出す必要はあるのか。</p>
説明員	<p>地場産ではなく他の産地の大豆を使用したほうが安価にできるが、地場産の大豆を使用してもらうために補助を行っている。</p>
外部委員	<p>茨木産の芋で茨木童子という焼酎を作るなど、いろいろと新しい取組みがされている。自立できるものについては、補助金をカットし、新しい茨木産のものに補助金を出してはどうか。</p>
説明員	<p>当初、地場産の大豆が足りず、かなり仕入れていた。しかし、地場産を増やしたいことから補助を行い、地場産を市価よりも高く買ってもらった。市</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	の補助をやめると製品単価に反映せざるを得なくなり、生産量が減少することにつながるため、補助を続けたい。
外部委員	すぐに補助をやめるのは難しいと思うが、いつまでも価格補てんを行うのではなく、良さをPRして付加価値をつけて、高く売る努力をしてほしい。
説明員	今でも市価の2倍程度で販売されており、これ以上単価をあげるのは厳しいと考えている。この団体からもっと補助を上げてほしい旨の要望はあるが、現在の補助で努力してもらっている。
外部委員	平成14年から10年間補助しているが、対象先はこの1団体のみか。
説明員	はい。
外部委員	地場の大豆を普及させるには、見山の郷だけではなく多くの事業者ができるように、直接、大豆の栽培をしているところに補助をするべきではないか。
説明員	農家に直接補助をする方法もあるが、その場合は、見山の郷に納入されたのか判断できないため、見山の郷で特産品を作りたいという考えから、この方式で行っている。
外部委員	見山の郷だけではなく、他の事業者にも補助できないのか。
説明員	見山の郷以外でも、大豆の特産品を製造する事業所へも補助することができる。
議長	すぐに見直しすることは難しいかもしれないが、委員からの意見を踏まえて、状況を見ながら見直していくように。
説明員	<p>【F-08 農空間活用事業補助金（淡水魚種苗導入事業）】</p> <p><資料 補助金等適正化検証シート（F-08）に沿って説明></p> <p>（意見なし）</p>
説明員	<p>【I-01 自治会連合会補助金】</p> <p><資料 補助金等適正化検証シート（I-01）に沿って説明></p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
外部委員	運営費か事業費か判断が難しいところではあるが、今後、直接的な事業費を補助して行くということか。
説明員	はい。
議長	補助目的で自治会相互の親睦とあるが、補助の目的としてはどうか。
説明員	親睦という単語は会則からとったものであり、実態は情報交換である。
説明員	【 I - 02 子どもの安全見守り隊（校区ボランティア巡視員）交付金】 <資料 補助金等適正化検証シート（ I - 02）に沿って説明>
外部委員	非常に重要な活動であり今後も続けていくべきであると思う。ただし、保護者・PTAのみではなく、地域・企業・商店を取り込んでいったほうが良いのではないか。例えば、協力してくれる企業を表彰したり、企業名を公表するなど、協力してくれた企業に報いるような取組みを検討してはどうか。
説明員	小学校によっては、イベントに来てもらうなど、地域の企業等と協力関係にあるところもある。今後、こうした取組みをさらに広げていきたい。
外部委員	他の市は補助がないが茨木市だけなのか。または、他の市は委託業務で行っているのか。
説明員	照会したがいろいろな形で見守り活動を行っている。しかし、組織化して市が支援しているところは無かった。
議長	池田市では警察OBが巡回しているとも聞いている。地域の人にボランティアでやってもらっているところが茨木市の良いところであると考えている。
外部委員	子どもの安全を確実に見守るためには、ちゃんと警察のOBなどに委託業務として行ってもらう方法もある。ボランティアでは安全確保で不安な面もあるので、確実な見守りについて検討していただきたい。
説明員	PTAのほか、青パトのように警察と連携して見守りをしている事業もあり、いろいろな手段により見守りを実施している。今後とも、さらに検討し

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	ていく。
説明員	<p>【 I - 03 自主防災組織事業補助金】</p> <p><資料 補助金等適正化検証シート (I - 03) に沿って説明></p>
外部委員	<p>どんな訓練をしており、どのような経費が対象となっているのか、また、アンケート結果ではどのような訓練に対して継続の声があがっているのかを、もう少し詳しく説明してほしい。</p>
説明員	<p>訓練内容は、初期消火・救出搬送・避難所運営・危険箇所のマップ化などを行っている。対象経費については、訓練における資材は消防と危機管理課で支援しているため、炊き出し訓練の際の材料費などが主な費用である。アンケートの主な内容は、「体験して参考になった」「一回ではなかなか身につかないので継続してほしい」などである。</p>
外部委員	<p>重要な事業であり、なぜ5万円しか補助をしていないのかが気になって質問した。基本的な資機材は市で準備し、その他で特別な経費に補助ということか。</p>
説明員	<p>1/2 補助なので持ち出しが必要であることから、現状を上限を5万円としている。今後、自主防災組織連絡会などで意見を聞き、考えるべきところは考えていく。</p>
議長	<p>今後の方向性のところで、「今後は、コミュニティ基本指針に基づく校区地域自治組織・・・」と記載しており、この補助金だけではなく、I - 02 から I - 06 まで同様の記載があるので、この内容について所管の市民活動推進課長から説明する。</p>
説明員	<p>地域コミュニティ基本指針は10月18日に策定されたものである。これまでは、行政が縦割りに補助金を支出していたため地域も同様に縦割りとなっているが、横の連携を持っていたきたいために、縦割りで行われている補助を地域協議会が一括して受けて、地域でそれぞれ配分を考えていただく仕組みを作ろうとしているところである。</p>
説明員	<p>【 I - 04 公民館区事業補助金】</p> <p>【 I - 05 地区スポーツ・レクリエーション大会補助金】</p> <p><資料 補助金等適正化検証シート (I - 04 ・ I - 05) に沿って説明></p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
外部委員	旧来の住民と新しい住民の間で、同じ行事に参加しにくいという問題も起こったりしているが、32地区ともうまくいっているのか。
説明員	茨木市も都市化が進んで、地域意識は薄れつつある。それを盛り上げるためにも補助金を支出していきたいと考えている。
外部委員	効果的なのか。
説明員	効果的であると考えている。
外部委員	新旧の住民の交流に、補助金が役に立っていることをPRしてほしい。
議長	新旧その他様々活動されている方々がいる。これら地域のまとまりのために地域一括交付金を検討しているところである。
	【 I - 06 青少年健全育成事業補助金】
	【 I - 07 子ども会育成連絡協議会補助金】
説明員	<資料 補助金等適正化検証シート (I - 06 ・ I - 07) に沿って説明>
外部委員	主に研修や連絡調整に使っていると思うが、補助額の差は回数なのか。
説明員	連絡調整では支出しておらず、事業に対して補助を行っている。
外部委員	地域の自主性に委ねていて7,000円のところもあれば数万円のところもあるということは、市からこういう事業をなささいと言うのではなく、それぞれ行う事業が各地区に委ねられているということか。
説明員	事業の目的は持ってもらっている、中学校区については校区生徒の問題行動抑制及び規範意識の醸成を図れるような事業、小学校区については地域での人間関係の構築及び青少年の地域活動への参加を促進する事業としている。
外部委員	団体によっていくらではなく、提案によって毎年変わるということか。
説明員	各地区に一定額の基礎額に、生徒数を加味したものを上限としており、その上限額の範囲内で提案してもらっている。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p style="text-align: center;">【 J - 01 人権センター事業補助金】</p> <p>説明員 <資料 補助金等適正化検証シート (J - 01) に沿って説明></p>
外部委員	再補助は、茨木市として問題ないのか
検討部会員	再補助を禁止はしていないが、用途が不明瞭になれば問題である。効果が見える用途が明瞭なものに補助していく。
外部委員	来年から変更するのか。
説明員	様々な団体があり調整に時間を要するため、平成 26 年度を目処に考えている。
外部委員	人権センターには法人格はあるのか。
説明員	法人格取得を検討していた時期もあったが、現在はその考えはない。
外部委員	検証シートで再補助の実態は把握できないのか。
検討部会員	検証シートでは金額までは記載していないが再補助の有無は記載している。
	<p style="text-align: center;">【 J - 02 住みよいまちづくり協議会交付金】</p> <p>説明員 <資料 補助金等適正化検証シート (J - 02) に沿って説明></p>
外部委員	現時点では、協賛金等の自主財源の確保はできていないのか。
説明員	ごみ袋を作成する際に各企業に社名を入れて協賛金を得ることや、掲示板の配布の際に、自治会から一部負担をしてもらっている。
	<p style="text-align: center;">【 J - 03 国際親善都市補助金】</p> <p>説明員 <資料 補助金等適正化検証シート (J - 03) に沿って説明></p>
外部委員	管理的経費の中身は何か。
説明員	総会、理事会などの経費であり、具体的には会場費、お茶代などである。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
外部委員	国際親善都市協会の運営は、他市と同じようなものか。
説明員	関係都市との関わり方によって異なるが、一概には言えないが、似たようなことをしていると考えている。
外部委員	茨木は200万円、吹田が2000万円であり、あまりにも額が異なることから目的を達成することが出来るのかと思ってお聞きしたが、200万円の補助金と会費収入で事業が成り立っていると考えて良いのか。
説明員	現在のところ事業は成り立っているが、協会からは増額の声もある。なお、吹田では財団化しており、プロパー職員の人件費も含まれていることから多額の補助金となっている。
検討部会員	繰越金が370万円もあるが、何か理由があるのか。
説明員	外国の都市と関わるという性質上、事業費に増減が生じるため、繰越金は必要であると考えている。
議長	事業補助化の中で、運営方法について検討してほしい。
外部委員	増額を希望するのであれば、効果を目に見える形で出す必要がある。例えば、茨木の中小企業が中国に進出するときに役に立ったとか、教育上の効果とか具体例を示したら良い。
説明員	今後とも交流による効果を示していく。なお、経済交流はあまり無く、商工会議所と協力して実施しているようだ。
説明員	【J-04 社会福祉協議会補助金】 <資料 補助金等適正化検証シート (J - 04) に沿って説明>
外部委員	人件費は、プロパーの職員か。
説明員	プロパーの人件費である。
外部委員	人件費は一部なのか、全部なのか。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
説明員	一部であり、賛助会員の会費の一部も充てられている。
外部委員	人件費を見直すということだが、具体策はあるのか。
説明員	事業によっては一部赤字の事業もあることから、そのような事業を見直すなど運営の適正化を図っていく。見直しは、単純に補助額を減らすとかではなく、団体のあり方、市としての関わり方について、総合的に見直しを行っていく。
外部委員	社会福祉協議会の制度の見直しは茨木市のものなのか、全国的なものなのか。
説明員	全国的なものではなく茨木市としての取組みである。
外部委員	大阪市の人件費では、市のOBの人件費が含まれているが茨木市は。
説明員	市のOBはいるが、適正な人数であると考えている。
検討部会員	4,000万が事業に直接関わっていない管理的経費に回っている。それについては、地域福祉に資する事業に対する補助としたい。また、収益事業も展開して、自立できるような方策を検討したい。
	【J-05 障害者事業団補助金】
説明員	<資料 補助金等適正化検証シート (J-05) に沿って説明>
外部委員	補助金より委託したほうが効率はいいのか。
説明員	補助金の内容は管理運営経費がほとんどであるため、より効率的にできると考えている。
外部委員	茨木市から出る経費は上がるのか、下がるのか。
説明員	管理経費は下がる。就労支援業務は今後見直していく中で、国の方針では力を入れていくことになっているので、事業経費は上がる可能性もある。
外部委員	現状は市の職員が職免で事業を行っているのであれば、指定管理料になれば管理運営経費が乗ってくるので市の支出が増えるのではないかと。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
説明員	職免と言っても兼務で行っており専従ではない。指定管理になれば就労支援の業務で管理的経費は含まれるので、管理的経費が上がるとは考えていない。
外部委員	補助金の見直しをして支出が増えたら意味がない。指定管理者に移行するよりも現状のほうが経費が安いかもしれない。そのあたりの見込み等はどのように考えているのか。
説明員	民間の視点で、指定管理者に新たな事業を展開してもらうなど、トータルの経費を節減する方向で考えている。
議長	委員の指摘を踏まえ検討してほしい。
説明員	【 J - 06 シルバー人材センター補助金 】 <資料 補助金等適正化検証シート (J - 06) に沿って説明 >
外部委員	事業収入の 2 億 3000 万円は減ってきているのか。
説明員	リーマンショック以前は 5 億円辺りであったが、以後は 5 億円に到達せず、事務的経費を見直した。
外部委員	管理的経費がかなり大きな金額になっているが見直しの予定は無いのか。
説明員	事務局のうち正職員は 10 人、臨職が 2 人であり、これが経営の硬直化を招いており、事務局の人数見直しを考えている。
外部委員	今回の見直しは事業費補助が目的であり、補助対象経費の大半が人件費であるのは問題である。一定の期日を切って方向性を示し、改善方針を立てたらどうか。
説明員	センターには随時投げかけており、過去からも色々な経費を見直している。今後、会員をどう拡大するか、職員の体制をどうするかということを見直していきたい。事業費補助への方法はまだ見えていないが継続して考えていく。
外部委員	事業収入の 4 億 4000 万円の 7 % の 3000 万円が管理的経費に充てられる計

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
説明員	<p>算になる。一般的には、国や市に依存ではなく、その中から管理費を出す体制を構築すべきであり、民間ではリストラの対象である。管理費は固定費として、足らず分を補助金で補てんするのではなく、どこまで市が支援すべきなのかを踏まえ、経営的に考えていただきたい。</p> <p>シルバーが安定的な運営をするためには、契約額を増やす必要がある。関東に比べて売り上げがやや少ない状況にある。今後は、民間の顧客開拓を含め問題点を提起し改善を図りたい。</p>
議長	<p>今後、中・長期的にどうしていくのか検討したい。</p>
	以上